

だんだん

放送大学島根学習センター
151号



2026年4月発行

〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4階
☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉shimane-sc@ouj.ac.jp

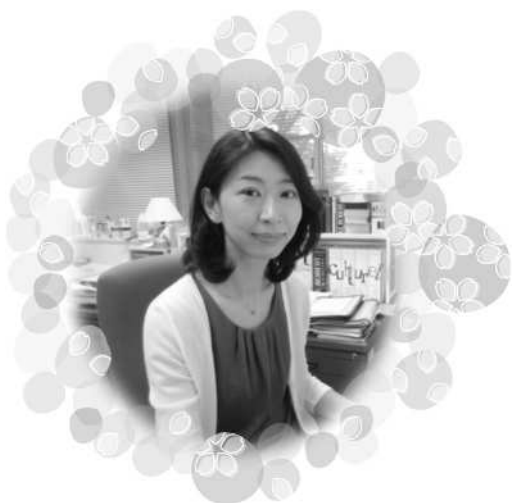


◆ 客員退任あいさつ	2
◆ 客員新任あいさつ	3
◆ 客員教員紹介	4
◆ 行事の報告	5~9
◆ 行事の案内	10
◆ お知らせ	11~20
◆ 島根同窓会通信・サークル案内	21
◆ スケジュール(4・5・6月)	22



客員教員退任のあいさつ

客員准教授 安齋 有紀



3月末をもちまして、放送大学島根学習センターを退任いたしました。在職中の5年間、多くの方々に支えられ、心豊かな時間を過ごすことができましたこと、心より御礼申し上げます。

担当したフランス文化および言語学に関連したセミナーや公開講座は、文芸、映画、絵画、食、歴史、風土、習慣などを切り口に、文化を通してその土地の言葉の豊かさを、その逆もしかり、言葉を通して文化を味わうことの面白さを皆様と共有したいという思いで取り組んでまいりました。年齢やご経験もさまざまな受講生の方々が、それぞれの視点から積極的に問いを投げかけてくださり、教える立場でありながら、

私自身が多くの刺激と学びをいただく場面が何度もありました。特に「外国語を学ぶこと」「ことばと文化」「ことばを対照すること」をテーマとした少人数の「だんだんゼミ」は、毎回受講生の発表がとても興味深く、教室で交わされたやりとりの一つ一つが心に残っております。こうしたゼミや個別の学習相談を通して、皆様の真摯な学びの姿勢や、豊かな経験に裏打ちされたご意見に触れるたび、生涯学習の意義と可能性を実感してまいりました。

センター長をはじめ教職員の皆様には、日々の業務において温かいご配慮と的確なご助言をいただき、安心して教育活動に取り組むことができました。試行錯誤の連続ではありましたが、その過程を共に支えてくださったことに、深く感謝申し上げます。

皆様と共に学び、考え、語り合った5年間は、私にとってかけがえのない財産です。ここで得た「学び」の大切さを、今後の教育活動でも伝えてまいります。またいつか学びの場でお会いしましょう！

客員准教授 中野 洋平



令和7年4月に着任したばかりですが、諸事情があり令和8年3月で松江を離れ、放送大学客員教員の職を辞すことになりました。本来なら任期いっぱいまで勤め、多くの皆さんと学び合うはずでしたが、わずか一年間だけになってしまったこと、心残りがたくさんあります。

ゼミ活動では、できるだけ具体的な地域や事例を通して民俗学的な探究を行ってきました。第1学期は松江市の島根町海鳥と宍道町宍道を実際に歩き「文化的景観」を読み解きました。酷暑で熱中症が危ぶまれましたが、皆さんとおしゃべりしながらの巡検は充実したものでした。第2学期は映像

資料を用いながら、さまざまな日本の祭りを読み解きました。一口に「まつり」といっても、祀る対象や時期、担い手によってさまざまな変化があります。

日本民俗学を牽引してきた柳田國男は、晩年の昭和32年に次のように語っています。「うずもれて一生終わるであろう人に関する知識を残すのが民俗学」つまり、特別な英雄や英傑、才能人たちではなく、日々まじめに働き、その日の夕ご飯の献立に悩むような日常を生きる私たちの「生き方」を見つめ、世に遺していくのが民俗学の使命だということです。これは私が民俗学を探求するうえでの基本姿勢でもあります。兎角、特別なこと有益であることが尊ばれる現代ですが、学問を探求される皆さんにおかれましては、どうぞこの視座を大切にいただきたいと思います。

最後に、島根学習センター所長の出口先生をはじめスタッフの皆さまには多くのご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

客員教員新任のあいさつ

客員教授 田中 芳文



今年度から島根学習センターの客員教員としてお世話になります、田中芳文と申します。どうぞよろしくお願いいたします。長年、島根県立大学で英語の授業を担当し、看護栄養学部（出雲キャンパス）では看護師、保健師、助産師として医療の最前線で働くことを目指す学生、人間文化学部（松江キャンパス）では英語教師として将来は教壇に立つことを目標とする学生のみなさんなどと共に学んできました。

英語には多様な専門分野がありますが、私の専門は英語学、および社会言語学で、特に「ことばと文化」の視点から英語を研究しています。具体的には、英語のノンフィクションや現代小説、新聞や雑誌などのメディア報道、テレビドラマなどを題材にして、

医療現場に特有の英語表現、犯罪や捜査の現場で使われる英語表現、英語のブランド名とそのブランド名が生まれた背景文化、サッカーなどスポーツ報道に見られる英語表現などについて調査・研究し、その成果を辞書のかたちで発表してきました。ゼミでは、ミステリー小説などに出てきた英語の原文だけでなく、その日本語翻訳の実例などを手がかりにお話できればと思っています。

ゼミの時間には、英語の「ことばと文化」についてみなさんといっしょに気楽に楽しく学んだり、学習相談を通じてお話ししたりできることを楽しみにしています。

客員准教授 山崎 泰孝



はじめまして、新しく4月から客員教員として勤めることになりました山崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

私の専門はドイツ文学です。主にリルケやホーフマンスタールといった20世紀前半のドイツ語圏の作家を研究対象としています。たとえばリルケは難解な哲学的内容を表現した作品で知られる詩人であり、リルケが語る思想内容も魅力的なのですが、そうした内容を詩という形で表現した意味とは何か、という点にとくに関心があります。特定の音の響きが繰り返されたり、互いに相反するイメージの単語同士が脚韻で結びつけられたり、詩のリズムが伝統的な韻

律から逸脱したりすると、そこに解釈の余地が生まれます。このように、「何が」語られているのか、だけでなく、それが「どのように」語られているのか、に注目しながら読むのも文学作品のおもしろさのひとつです。

とはいえ、こうした点を分析しようとするドイツ語原文を読む必要があります。今回ゼミでは翻訳を使うので、もっと単純におもしろいドイツ文学の作品は何か、と考えて、カフカ作品を選びました。カフカ文学のおもしろさは、そこに描かれていることが何か別のことを表しているように読める点にあります。多義的な解釈に開かれた作品なので、皆で議論しながら自らの読みを深めていってほしいと思います。



客員教員紹介

①現職等 ②専門分野 (五十音順)

	<p>大谷修司 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 植物分類学</p>	<p>昨年4月から放送大学に勤めております。よろしくお祈いします。前職は島根大学教育学部で、生物学を約30年担当していました。</p> <p>研究対象は顕微鏡的サイズの水田のミカツキモや穴道湖・中海の植物プランクトンなどで、大きさや形から種の名前をつけたり、藻類を試験管の中で培養して生活環の研究をしてきました。島根大学の生物学演習では島根大学構内の植物観察を毎週実施し、生物学実験の材料はできるかぎり島根大学構内から採集しました。放送大学のゼミでは皆さんと放送大学周辺で植物を採集してそれらの花や葉の構造を、眼、ルーペや実体顕微鏡で観察したいと考えています。いっしょに楽しく学習を進めていきましょう。</p>
	<p>千代章一郎 客員教授 ① 島根大学教授 ② 建築学</p>	<p>本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の見方を発見できればと思います。</p>
	<p>武田信明 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 日本近代文学</p>	<p>客員教授をつとめる武田信明です。どうぞよろしくお祈いします。専門は、日本近代文学、分かりやすく言うなら明治から現代までの文学作品を研究しています。今回のゼミナルでは、まずは各自が読んで自由な感想を持つことを出発点とします。そして、私が「読み方」のヒントを提供しますので、これまでとは異なる様々な観点から小説を読んだり、考えたりするという体験もしていただきたいと思います。小説の読み方に正解はありません。しかも人それぞれ関心は異なります。他の人の感想を聞くことも楽しいですし、新しい読み方を知ることもし楽しいでしょう。そのような「知的」な意味で楽しい時間にしたいと思います。</p>
	<p>田中芳文 客員教授 ① 島根県立大学名誉教授 ② 英語学・社会言語学</p>	<p>初めまして、今年度から客員教員を務めます田中です。これまで島根県立大学の看護栄養学部（出雲キャンパス）と人間文化学部（松江キャンパス）で英語の授業を担当してきました。専門は英語学、および社会言語学で、特に「ことばと文化」の視点から英語を研究しています。具体的には、医療現場や犯罪捜査の現場に特有の英語表現、英語のブランド名とその背景文化、カリン・スローターなどミステリー作家の英語表現、サッカーのようなスポーツ報道に見られる英語表現などについて調査・研究し、その成果を辞書のかたちで発表しています。みなさんといっしょに、英語という言語のおもしろさを楽しく学んでいきたいと思っています。</p>
	<p>村瀬俊樹 客員教授 ① 島根大学名誉教授 ② 心理学</p>	<p>乳幼児が母語を獲得する過程を中心に、心の発達、心と文化の関係について研究をしてきました。私たちがものごとを考えるとき、自分の視点から自分の持つ枠組みを当てはめて考えがちですが、そこには偏りがあります（認知バイアスと呼ばれ、私もその塊です）。認知バイアスのおかげで、様々なことに対処できる側面もありますが、それを暴走させると困ったことがいろいろ生じます。心理学の実験や調査の結果と対話をしてみると、状況によって考え方がどう変わるのかがわかるなど、もの考え方を、多角的にとらえ客観的に見ることが出来ます。皆様と一緒に、人間のものの考え方のおもしろさを楽しく味わっていければと思っています。</p>
	<p>山崎泰孝 客員准教授 ① 島根大学准教授 ② ドイツ文学</p>	<p>はじめまして、新しく4月から客員教員として勤めることになりました山崎です。私の専門はドイツ文学で、とくに20世紀前半の作家たちを研究対象としています。今年度のゼミであつかうカフカの作品は本務校の島根大学の演習でも取り上げています。カフカ作品に対して、はじめは多くの学生が難しいと感じるようですが、授業終盤になると自分なりの解釈ができるようになっていきます。皆さんも最初はよく分からない作品だと感じるかもしれませんが、回数を重ねていくことで、間違いなく理解度は深まっていきます。文学作品を読むおもしろさを皆さんにお伝えできればと思いますので、どうぞよろしくお祈いします。</p>

行事の報告

◆ 学位記授与式 ◆

令和7年度第2学期の学位記授与式を3月29日（日）スティックビル3階放送大学島根学習センター第1講義室にて開催しました。

学位記授与式には今回卒業された12名の卒業生のうち5名の方々が出席されました。出口所長の式辞の後、来賓の島根同窓会の竹下副会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して森田佳代子さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。授与式終了後、第2講義室にて同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。

卒業生紹介

氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

教養学部教養学科卒業

石川 直樹	【社会と産業コース】	今岡 博志	【生活と福祉コース】
大賀美 弘子		越智 明子	【人間と文化コース】
島田 佳奈	【心理と教育コース】	長島 博	【生活と福祉コース】
森田 佳代子	【心理と教育コース】		



所 長 式 辞



島根学習センター所長
出 口 顕

今年は新年早々雪、地震、更なる大雪に見舞われ、当センターも二度臨時閉所せざるを得ませんでした。大変な年のスタートでしたが、彼岸をすぎてようやく暖かくなりのどかな春を迎えることができた今日、放送大学島根学習センター令和7年度第2学期の「学位授与式」を、ご来賓の島根学習センター同窓会副会長竹下靖彦さま、客員教員の先生ご列席のもと執り行うことができました。卒業生の皆さま、本日は誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆さまには卒業生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

今学期卒業される学士12名の皆さまは、入学された年度、在学期間はまちまちですが、コロナ禍に伴う面接授業の中止や単位認定試験の実施形態の変更の影響を様々な形で被ってられました。ご苦労は大変であったろうと察しますが、困難を乗り越え無事卒業を果たされた、その努力と熱意に改めて敬意を表したいと思います。

コロナ禍などのパンデミック、頻繁に生じる地震・豪雨・豪雪などの災害、更には世界各地で生じる紛争によって、当たり前前の生活を送ることが如何にかけがえのないものであるかを、私たちは痛感するに至っています。日々の生活を守るためにリスクを未然に回避する、あるいは迫り来る危機を最小限に抑えるというリスク管理が今求められています。みなさんが放送大学で学んだ知識は、直接それに答えを与えてくれるものとは限りません。しかし時間をうまく管理しながら学ぶ技術をみなさんは身につけてられました。また多様な放送授業や面接授業を通じて様々な知識を身につけ今までとは異なった角度から身の回りや世界を見る力を獲得されました。その能力をこれからもさらに活かして皆さんの日常を維持するためにはどうすればよいかを考え実践していただければと思います。

ゆっくりと理性的思考を知的に展開するというのは SNS やインターネットにはなじまないとよく言われます。そこでは、素早い直感的思考を促進し、直感的思考を行ったことが

正しくて「合っている」と感じさせるシステムが働いていると、識者はしばしば指摘しています。人間は自分が最初から知っていたものの方を正しいと思いやすい傾向がある。人間の脳は知らないことを理解するのにかかるコストや受け入れがたいことを不快感としてとらえ、その結果快不快で真偽を判断する癖があるそうです。心地よさという情動ですべてを判断する、その結果が SNS での誹謗中傷やヘイトスピーチとして現れるようです。

また今に限らないのですが、ネットの検索サイトには、さまざまなランキングにアクセスできるようになっています。しかしランキングの上位にあげられた本が面白い良書とは限りません。失敗したと思うことが何度もあるのは、皆さんも経験があることだと思います。そもそもどういう基準でどういう質問をしてどうデータ処理したか、それらのランキングは明確に示してくれません。中には何のためにこんな調査をして発表するのか分からないようなランキングがしばしば表示されています。しかしランキングとは下に位置づけられたものを見下したり排除したりする危険性を孕んでいます。

放送大学の授業や教育もはやインターネット抜きでは考えられません。しかし卒業生の皆さんには、心地よいか悪いかという情動ですべてを瞬時に判断するのではなく、少し手間でも自分の目と耳を使って考えて判断することを願ってやみません。既に放送大学の授業でそのような下地がつけられていると私は確信しています。時代に流されない理性的思考を働かせて、ご自身や社会のよりよい今後を切り開いていかれることを願っています。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。



卒業生代表あいさつ

教養学部教養学科 心理と教育コース
森田佳代子

暖かな日差しが春のおとすれを告げる頃となりました。今日は、私たち卒業生のために「学位記授与式」を開催していただき、誠にありがとうございます。

また、ご多忙の中にも関わらずご出席いただいた来賓のみなさま、そして御指導いただきました先生方、島根学習センターのみなさまに対して、卒業生を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。

私が放送大学に入学したのは、今から10年前の事です。心理学を勉強したい、と思った事がきっかけでした。私が心理学に興味を持ったのは、何故？という素朴な疑問からです。

私は、小学一年生の頃に、今では場面緘黙症と呼ばれている症状があらわれた事で、4年間学校で喋れない時期がありました。また、高校生の頃にはパニック障害も発症してしまいました。

その時思ったのが、何故こんな事が起こるのだろうか？という疑問でした。若い頃、それを知る為に心理学の勉強をしたいと思ったのですが、当時全てにおいて自信が持てなかった私は、一歩踏み出す勇気を持つ事ができませんでした。

けれど諦めきれないまま過ごしていたある時、偶然にインターネットで放送大学の存在を知ったのです。

ここなら、働きながら心理学の勉強が出来るかもしれない。そんな期待を膨らませて放送大学に入学いたしました。

正直、中々勉強が捗らない日もありました。土日の休みが取れなくて、面接授業を諦めた日もありました。頑張っても、単位認定試験を落としてしまうこともありました。金銭的な余裕がなくて、1科目しか科目登録できない時もありました。入学して3年目に母が倒れて寝たきりになり、自宅で全介護すると決めた時も、勉強を続けていけるだろうかと不安になりました。

それでも、諦めずに地道に勉強を続けてきて良かったと思います。何故なら、心理学を学ん

だ事が、家族や友人や職場など沢山の場所で役に立っているからです。

正直私は、自慢できるような優秀な成績ではありませんでした。それでも諦めずに学び続けてきたからこそ、今この場に立てています。そんな自分をとても誇りに思っています。

きっと、今日卒業される卒業生の皆様も、同じ気持ちではないかと思えます。

そして、学びたいという気持ちは、卒業してからこれで終わりと言う訳ではありません。まだまだ、知りたい事がこの世には山ほどあります。最初のきっかけにもなった、何故？という素朴な疑問を持ちながら、これからもずっと学びたいという気持ちを持ち続けていきたいと思えます。

最後になりましたが、ご臨席の皆様、在学生の皆様ならびに放送大学の関係者の皆様の今後のますますのご健勝とご発展を祈念し、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

今日は誠にありがとうございました。



卒業生からの言葉



出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

(匿名の方)

放送大学の先生方、学習センターの皆様のおかげで卒業することができました。大変ありがとうございました。

今岡 博志さん

4コース目の卒業をさせて頂けること感謝申し上げます。4月からの新コースへの入学が控えておりますので、お祝の式は辞退させていただきます。

石川 直樹さん

今回で4回目の卒業となりました。毎回新しい発見に出会います。これからも学びを続けていきたいと思っています。

森田 佳代子さん

10年目にしようやく卒業できました。とてもうれしく思います。放送大学の先生方学習センターの皆様、どうもありがとうございました。

大賀美 弘子さん

卒業の喜び、そして感謝です。学びを通していろいろな町、人にも出会えました。もう少しだけ、面接授業を楽しもうと思います。

島田 佳奈さん

無事に卒業することができました。楽しく学んだ4年半でした。ありがとうございました。

長島 博さん

二回目の卒業です。生活と福祉コース、一回目は人間と文化コースです。社会学と貧困を学びました。

越智 明子さん

卒業するのがもったいなくて、ゆっくり10年居させてもらいました。お世話になりました。学習センターの皆様感謝申し上げます。



◆ 入学者の集い ◆

3月29日（日）、令和8年度第1学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス（学友会との共催）」を行い、新入生15名の出席がありました。「入学者の集い」には、来賓の松江市教育委員会生涯学習課、岸本亮子（きしもとりょうこ）課長からのご挨拶と大谷客員教授、武田客員教授からのご挨拶をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション（学習の進め方等の説明）の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援いたします。



行事の案内

◆ 公開講演会 ◆

公開講演会を以下のとおり開催します。事前にお申し込みください。(☎0852-28-5500)

●「水中の微小な生物の採集と顕微鏡観察」

島根学習客員教授(島根大学名誉教授) 大谷 修司氏

日時：5月23日(土) 14:00~15:30

場所：出雲科学館 実験室2

内容：身近な田んぼや水たまりの中には、顕微鏡でしか見えない微小な生物が多数生育しています。私が松江の田んぼで採集し、試験管の中で育てた藻類や出雲科学館周辺の水たまりで採集した水試料を、参加者一人一人がルーペや顕微鏡で観察します。当日はどんな生物に出会えるでしょうか。

普段接することのできない顕微鏡の世界を楽しんでください。

小学校5年以上、同伴可能です。

申し込み：出雲市市民活動支援課
TEL0853-21-6528 FAX0853-21-6299
メール gakushu@city.izumo.shimane.jp
放送大学島根学習センター TEL0852-28-5500

*FAX、メールでお申し込みの方は ①講演演題 ②氏名(ふりがな)
 ③住所 ④電話番号 を明記してください。

*申込により取得した個人情報については、本件の連絡にのみ使用します。

しまね電子申請サービス



◆ 入学説明会・相談会 ◆

2026年10月入学に向けた「入学説明会・相談会」を開催します。

ご家族、友人、お知り合いの方々にぜひご紹介ください！

いつでも、だれでも、自由な学びを あなたの学びを応援します！

出願受付期間は6/10(水)~9/9(水)です。



○松江会場	6月21日(日)	10:00~ 14:00~	島根学習センター
	8月2日(日)		
	8月30日(日)		
○出雲会場	8月23日(日)	13:00~	出雲中央図書館
○浜田会場	8月21日(金)	9:00~	県西部社会教育研修センター
○益田会場	8月20日(木)	14:00~	益田市立図書館

お問合せ・お申込み先： 島根学習センター ☎0852-28-5500 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

お知らせ

◆ 「学生生活の栞」・「利用の手引き」 ◆

『学生生活の栞』は、皆さんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。

なお、『学生生活の栞』及び『利用の手引』は2026年度から電子形式で提供しております。記載のURLからご覧ください。

- 学生生活の栞 <https://www.ouj.ac.jp/for-students/handbook/>
- 利用の手引き <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/school/free3.html>



◆ 卒業研究 ◆

卒業研究は、教養学部全科履修生を対象とした選択科目(6単位)です。教員と直接ふれあうことの少ない放送大学において、卒業研究は指導教員から直接指導を受けることのできる、またとない機会です。あなたも、卒業研究で主体的に学習する喜びを実感してみませんか。

- (申込期間) 8月の所定期間内(要確認)
- (履修期間) 申込翌年4月から1年間
- (対象者) 全科履修生として2年以上在学しており、62単位以上の単位を習得されている方

※申請条件、対象者の特例等がありますので、詳細は「卒業研究履修の手引」をご参照ください。

2027年度の卒業研究履修(2026年度申込)に向けた案内冊子:「2027年度

卒業研究履修の手引」は、2026年6月頃公開予定です。

※卒業研究の履修をお考えの方、今すぐは履修できないが履修に向けて準備を進めたいという方には個別でご相談に応じます。個別相談は予約制となっております。島根学習センターまでメールまたはお電話でお申し込みください。

◆ 通 信 指 導 ◆

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P68～74 大学院 P73～78

通信指導は、放送授業科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回前半の一定の範囲で出題されます。提出型問題の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。期限後の提出や未提出は、評価対象になりませんので注意してください。

●提出期間

2026年5月7日(木) 10:00～5月27日(水) 17:00



忘れずに!

※郵送による提出(郵送提出科目、単位認定試験を学習センターにしている場合)

2026年5月13日(水)～5月27日(水) 必着

郵送提出科目・・・「市民自治の知識と実践(’21)」、「日本美術史の近代とその外部(’18)」、「文学批評への招待(’18)」、「空間と政治(’22)」、「現実と向き合う政治理論(’22)」(院)

◆ W e b 単 位 認 定 試 験 ◆

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P74～82 大学院 P79～85

単位認定試験は、自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。(郵送受験方式の科目を除く) 試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2026年7月14日(火) 9:00～7月22日(水) 17:00

・記述式・併用式科目：2026年7月14日(火) 9:00～7月18日(土) 17:00

※郵送提出科目：2026年7月14日(火)～7月18日(土) <必着>

郵送提出科目・・・「行政学講説(’24)」、「正多面体と素数(’21)」、「日本美術史の近代とその外部(’18)」、「量子化学(’19)」



単位認定試験体験会

操作体験会を下記の予定で実施します。

事前に島根学習センター窓口またはメール(✉shimane-sc@ouj.ac.jp)でお申込みください。

- ・ 島根学習センター 第2講義室(4F)・・・各回 定員3名
6月28日(日) 7月3日(金)
10:30～11:30 / 15:30～16:30

◆ 履 修 相 談 ◆

科目の選び方、資格についてなど分からないことがあれば、当センターで「履修相談」を受けることができます。相談は予約制ですので、お電話等でお申込みください。すでに予約が入っている場合など、ご希望の日時にお受けできないこともございますのでご承知おきください。

お問合せ・お申込み先：島根学習センター ☎0852-28-5500 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

◆ シ ス テ ム W A K A B A ◆

(参照) 「利用の手引き」 P12~13
 「学生生活の葉」 教養学部 P27~29、P115~119
 大学院 P41~43、P115~116

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。

システム WAKABA は放送大学 Web サイトからログインできます。操作方法等、お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

また、放送大学 YouTube チャンネルから「システム WAKABA の使い方」の動画もご覧ください。



「システム WAKABA の使い方」
 送大学 YouTube チャンネル

放送大学ウェブサイト (https://www.ouj.ac.jp) からシステム WAKABA にログイン

●PC 版

画面上部ヘッドメニュー>在学 (WAKABA)



●スマートフォン版

画面右上メニュー>在学生 (WAKABA)



ログインIDは学生番号からハイフンを除いた10桁の数字です。パスワードは個人で設定したパスワードです。
 新入生のログインID・パスワード入学許可証に記載されています。初回ログイン時は、必ず、パスワード変更 URL から、パスワード変更を行ったのちログインしてください。
 ※パスワードを初期化した場合の初回のログイン時も同様です。
 パスワード設定条件

- ・8文字以上
- ・英字(大小は問わず)を1文字以上、数字を1文字以上含める
- ・ログイン名は含めない

◆ 面接授業 ◆

島根学習センターで2026年度第1学期に開設する面接授業は、以下のとおりです。

授業実施日	科目区分・ナンバリング	定員	科目名	注	担当講師名
4月18日(土) 4月19日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	認知症の基礎知識とケア	△	長濱 道治 (島根大学医学部附属病院基幹型認知症疾患医療センター副センター長)
4月25日(土) 4月26日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	25	活断層がもたらす災いと恵み	◆ □	向吉 秀樹 (島根大学准教授)
5月9日(土) 5月10日(日)	導入：人間と文化 220(中級)	40	日本神話と海外神話		山村 桃子 (島根県立大学准教授)
5月16日(土) 5月17日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	30	社会心理学		豊島 彩 (島根大学講師)
5月16日(土) 5月17日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	島根の神楽を学ぶ		中野 洋平 (佛教大学准教授)
5月30日(土) 5月31日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	20	建築遺産の空間学2	◎ ◆	千代章一郎 (島根大学教授/島根学習センター客員教授)
6月6日(土) 6月7日(日)	基盤：外国語 110(初級)	40	小泉八雲と松江	◆	宮澤 文雄 (島根大学准教授)
6月13日(土) 6月14日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	30	石見銀山の遺跡とその歴史 <small>※実施会場：石見銀山世界遺産センター</small>	★	遠藤 浩巳 (大田市教育委員会主任・文化財技師)
6月20日(土) 6月21日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	ヤングケアラー概論		宮本 恭子 (島根大学教授)
6月20日(土) 6月21日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	20	水中の微小生物の採集と観察 <small>※実施会場：秋鹿なぎさ公園(6/21)</small>	★ ◆	大谷 修司 (島根大学名誉教授/島根学習センター客員教授)
7月4日(土) 7月5日(日)	専門：生活と福祉 310(初級)	40	栄養管理について学ぼう!		澤 幸子 (島根県立大学准教授)

(注) △…追加登録ができない科目です。

◎…BYOD科目です。

★…学習センター以外の場所で行う面接授業です。

◆…フィールドワークを行う授業です。必要に応じて学生教育研究災害傷害保険加入の手続きを行ってください。

□…追加登録受付スケジュールが異なります。島根学習センターWebサイトの「お知らせ」欄をご確認ください。

各授業科目により、実施場所、授業参加に必要なものなどが異なります。

追加登録の際は、必ずシステムWAKABA「シラバス」もしくは冊子「面接授業時間割表(中国四国ブロック版)」で授業概要等の詳細をご確認ください。

◆面接授業の追加登録について◆

島根学習センターで開設する2026年度第1学期面接授業の追加登録方法は、以下のとおりです。ただし、4月25日開講の「活断層がもたらす災いと恵み」は受付スケジュールが異なります。島根学習センターWebサイトの「お知らせ」欄をご確認ください。

1. 空席発表：4月17日（金）15時

確認方法：システムWAKABAにログイン後、

教務情報→科目登録申請→空席照会→学習センターや科目名などを入力して検索

2. 事前申請受付：4月17日（金）15時～4月22日（水）13時10分

◆ 島根学習センターのウェブサイトまたは窓口で、面接授業の追加登録を申請

A. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、申請フォームへアクセスし、必要事項を入力のうえ送信してください。

B. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項を記入し、学習センター窓口へ提出してください。

※追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は4月22日（水）午前必着です。

昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、ウェブサイトからの申請を推奨します。

◆ 抽選結果：4月23日（木）

キャンパスメール（学生番号@campus.ouj.ac.jp）に抽選結果をお知らせします。

★当選の連絡（キャンパスメール）が来たら、島根学習センターに授業料納入

◆ 授業料納入：4月28日（火）15時まで

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料・事務手数料200円（1科目につき）を納入してください。

（1）メール型決済での納入

（2）学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。

3. 先着申請受付：4月23日（木）15時以降

事前申請で満席とならなかった場合、先着順で申込を受付けます。

（原則、開催日の7日前までですが、科目ごとに受付期限日が決まっていますので、ご確認の上お申し込みください）

A. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

B. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入し、学習センター窓口へ提出してください。

◆ 授業料納入

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料を納入してください。

（1）メール型決済での納入

（2）学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。

窓口受付時間【閉所日・祝日を除く】9時30分～17時30分 ☎0852-28-5500

◆ 島根大学への双方向「単位互換制度」説明会 ◆

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

- (1) 出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者

2. 履修できる授業科目

	島根大学
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。
受講料	1単位当たり 5,500円 (1科目2単位:11,000円)
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】松江市西川津町1060番地 法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部 材料エネルギー学部、生物資源科学部

3. 出願から学習修了までのスケジュール

事項	日程		備考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～1月中旬	～7月中旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月下旬	9月下旬	島根大学から本人 に通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：島根大学
単位認定試験の受験	(履修科目の担当教員の指示を受けてください)		場所：島根大学
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	島根大学から本人に 通知
単位の認定	10月上旬	翌年4月上旬	修得した単位を本学 の単位として認定

4. 2026年度第2学期単位互換制度の説明会を下記のとおり開催します。

日時	2026年6月25日(木) 15:00～16:00
場所	島根学習センター 第2講義室

・要予約 島根学習センター ☎0852-28-5500 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp



◆ 学 習 相 談 の お 知 ら せ ◆

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。（電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください。）

■ 相談時間 1人1時間以内

■ 学習相談票は、窓口および島根学習センターWeb サイトにご用意しています。

【問合せ】島根学習センター ☎0852-28-5500 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

教 員 名 (専門分野)	学 習 相 談 日	
大 谷 修 司 (植物分類学)	4月	9日(木) 9:30~12:30
		16日(木) 13:30~16:30
	5月	14日(木) 9:30~12:30
		28日(木) 9:30~12:30
	6月	4日(木) 9:30~12:30
		18日(木) 9:30~12:30
千 代 章 一 郎 (建築学)	4月	16日(木) 9:30~12:30
	5月	22日(金) 9:30~12:30
	6月	19日(金) 9:30~12:30
武 田 信 明 (日本近代文学)	4月	9日(木) 13:00~16:00
		16日(木) 13:00~16:00
	5月	14日(木) 13:00~16:00
		21日(木) 13:00~16:00
	6月	11日(木) 13:00~16:00
		18日(木) 13:00~16:00
田 中 芳 文 (英語学・社会言語学)	4月	9日(木) 9:30~12:30
		16日(木) 9:30~12:30
	5月	7日(木) 9:30~12:30
		14日(木) 9:30~12:30
	6月	4日(木) 9:30~12:30
		11日(木) 9:30~12:30
村 瀬 俊 樹 (心理学)	4月	11日(土) 13:30~16:30
		17日(金) 13:30~16:30
	5月	2日(土) 13:30~16:30
		12日(火) 9:40~12:40
	6月	3日(水) 9:40~12:40
		27日(土) 13:30~16:30
山 崎 泰 孝 (ドイツ文学)	4月	10日(金) 9:30~12:30
		24日(金) 9:30~12:30
	5月	8日(金) 9:30~12:30
		15日(金) 9:30~12:30
	6月	12日(金) 9:30~12:30
		19日(金) 9:30~12:30
出 口 顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

◆ ゼミのお知らせ ◆

島根学習センター客員教員によるゼミ（学習会）を開催します。

ゼミとは、客員教員が、専門分野のテーマに沿って開講する少人数・双方向型の学習会です。講義を受講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身に付けることができます。

卒業研究の履修を希望する学生にはおすすめです。

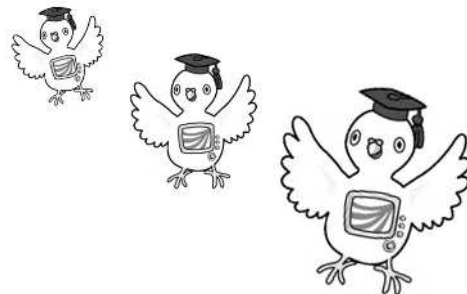
また、各ゼミの第1回目はオリエンテーションとなっておりますので、まずは第1回目のゼミに参加し、様子を見てみてはいかがでしょうか。

今まで関心がなかった分野にも新たな発見があるかもしれません。

- **対象者**：島根学習センター所属の学生（学生の種類は問いません。ただし休学者は除く）
- **会場**：島根学習センター講義室等
- **受講料**：無料 ・ **単位取得**：なし
- **申込〆切**：各ゼミの第2回開催日前日まで（申込〆切後も定員になるまで随時募集）
- **申込方法**：学習センター窓口、電話、メールにてお申込みください。

☎ 0852-28-5500

✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



自然から学ぶ：春から夏の身近な植物を観察しよう 大谷 修司 客員教授

皆さんが友人や先生方の顔と名前を覚えることで、お互いの関係が深まっていくように、身の回りの植物も名前を覚えることが、植物を身近に感じる第一歩です。また、名前を知ること、花の形や咲く時期などにも次第に興味が出てきます。毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや実体顕微鏡で精緻なつくりを観察しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。

●水曜日 10:00~11:30 (4/22のみ 13:30~15:00)

4/22、5/20、6/24、7/29、8/26、9/30 (定員 10名)

建築の歴史：日本と西洋を中心に 千代 章一郎 客員教授

現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。それは人間の技術について学ぶこと、人間の社会について学ぶこと、そして人間自身について学ぶことと深くつながっています。

●金曜日 9:30~11:00

4/24、5/15、6/12、7/10、8/7、9/4 (定員 10名)

小説を読む楽しみ—太宰治「ろまん燈籠」

武田 信明 客員教授

今期は太宰治の短篇「ろまん燈籠」を皆さんと一緒に読み進めていきます。テキストは、角川文庫クラシックスがおすすめですが、新潮文庫その他でもあります。また「青空文庫」で無料ダウンロードもできます。各自ご用意ください、本作は、太宰文学の中でもあまり読まれていない作品です。小説好きの仲良し五人兄妹が連作でひとつの物語を書きついでいくという設定で、明るくユーモアに満ちた読みやすい小説です。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして、小説には「読み方」のポイント（方法）がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。意見交換の他、簡単な発表（レジュメ）もしていただきます。

●木曜日 14:30~16:00

4/23、5/28、6/25、7/23、8/27、9/24（定員 10名）

翻訳作品で学ぶ英語の言語と文化

田中 芳文 客員教授

英語のミステリー小説やノンフィクション作品の翻訳（抜粋）を読みながら、邦訳だけでは捉えにくい英語表現や、その背後にある文化的背景について学びます。

具体的には、ブランド名などの固有名詞、イディオム、スラング（俗語）やジャーゴン（業界用語）、日常的に用いられる表現など、さまざまな英語表現を取り上げます。受講生には、気になった英語表現について各自で調べ、その内容を簡単に発表していただきます。現在お持ちの英和辞典を持参して下さい。

●木曜日 10:30~12:00

4/23、5/21、6/18、7/23、8/6、9/24（定員 10名）

実験・調査を通して知る心の仕組み

村瀬 俊樹 客員教授

発達心理学・社会心理学・文化心理学に関する基礎的な内容について、教員からの話題提供、および、参加者からの発表をもとに学んでいきます。参加者の方には、これらの領域の入門書を数冊紹介しますので、その中から、関心のある本の1章（10 ページ程度）を選んで期間中に1回発表（15分程度）をしていただきます。紹介した入門書以外でも、教員の守備範囲とマッチする場合は、それについて発表していただいてもかまいません。見えない心を実験や調査で客観的に見ることが出来るものとして取り出し、多くの人に実験や調査に参加してもらい、その結果から一般的な傾向としての心の仕組みを探る心理学の世界を、ご一緒に味わっていただければと思っています。

●水曜日 10:30~12:00

4/22、5/27、6/17、7/1、8/5、9/2（定員 10名）

ドイツ文学の作品を読む

山崎 泰孝 客員准教授

このゼミでは翻訳を用いてドイツ文学の作品を読んでみたいと思います。今回取り上げるのは『変身』で有名なフランツ・カフカの作品で、テキストとして使用するのは岩波文庫の池内紀編訳『カフカ寓話集』です（テキストは各自での準備をお願いします）。ゼミのなかでは作品についての疑問点や解釈について皆さんと議論できればと考えています。

最初に読んだ印象では「よく分からない」作品でも、キーワードとなる特定の表現に注目して読んだり、他の作品と比較したり、作者に関する背景知識を踏まえることで、作品に対する理解度は深まってゆきます。皆さんにはこうした文学作品に対するアプローチの仕方を学んでいただければと思います。

●金曜日 10:30~12:00

4/17、5/29、6/26、7/31、8/28、9/25（定員 10名）

◆ 図 書 ・ 視 聴 室 ◆

◆ 図書・視聴室の利用時間

9:30 ~ 17:30 (学習センター開所日)

2026年4月から週2日閉所します。お越しの際は学習センターWebサイトで開所日をご確認ください。

また、7月14日(火)~7月22日(水)は、単位認定試験を島根学習センターで受験する方以外の図書・視聴室利用はできませんのでご了承ください。(島根学習センターで受験する方は、受験日のみ使用できます。)



◆ 面接授業参考図書のご紹介

2026年第1学期面接授業の参考図書を図書・視聴室に配架しましたので、ご紹介します。

その他、面接授業開催前の一定期間のみ配架予定の参考図書もありますので、気になる参考図書がありましたら図書・視聴室ものぞいてみてください。

なお、閲覧の際は図書・視聴室内にてご利用ください。

● 新版 古事記 現代語訳付き 中村啓信 著/角川文庫

(面接授業「日本神話と海外神話」参考図書)

● 日本社会の変容とヤングケアラーの生成 宮本恭子 著/晃洋書房

(面接授業「ヤングケアラー概論」参考図書)



◆ 西部地域にお住まいの学生のみなさまへ (浜田・益田コーナー) ◆

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」(18頁、19頁)をご覧ください。

浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内
(いわみーる3階)

益田コーナー

益田市立図書館内
(カウンターでお問い合わせください。)



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について(予告)・・・8月20日(木)(益田)、21日(金)(浜田)で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

第21回市民公開講座開催のお知らせ

NHKの朝ドラ「ばけばけ」をご覧になりましたか？松江の良さが存分に出ていたと思います。そのせいか街には観光客も多く訪れ活気が見えます。そんなタイミングで、昨年開催した市民公開講座「ラフカディオ・ハーンが会った松江の人々」(講師：宮澤文雄先生)に続き、第2弾として2026年5月9日(土)に、第21回市民公開講座「西田千太郎の実像」～西田家関係資料からひもとく～(講師：宮澤文雄先生)を開催します。今回は特に好評だった「ばけばけ」のあとを受けた講座なので、関心も高いと思います。講師の宮澤先生は西田千太郎宅や関連資料の保存に尽力されています。ラフカディオ・ハーンとともに明治の松江に生きた一青年(西田千太郎)の姿を、資料を通してひも解いていかれると思います。ぜひ多くの参加をしていただき、一緒に盛り上げていきましょう。

会場準備の都合もありますので、参加を希望される方は早めに連絡をお願いします。

身近な防災知識を季節の食材を食べながら学ぼう!!

ミニ勉強会を開催(5月ごろを予定)

だんだん前号の島根同窓会通信の抱負にも書きましたが、今年は特に「会員相互の交流促進」と「新規会員の獲得」を最重要課題と位置付けています。最初は、タイムリーな企画である、上記市民公開講座の開催、続いては、親睦と知識習得の両方をねらっての、「ミニ勉強会&食事会」を企画する予定です。

島根同窓会は昨年防災部を発足させ、具体的な活動を通じて、会員の皆様が「参加してよかった」と思えるような、魅力的で活気ある同窓会を目指しています。勉強会の具体的な日程や内容は別途同窓会ホームページなどでお知らせします。ご期待ください。

放送大学島根同窓会


第21回市民公開講座

日時 2026年5月9日(土)
13:30~15:00

会場 放送大学 島根学習センター
松江市白洲本町4-3 STICビル4階

演題 「西田千太郎の実像」
～西田家関係資料からひもとく～

講師 宮澤文雄先生(島根大学法文学部准教授)



島根八幡宮の境内で1971年から新しいお祭りを行います。テーマは、朝ドラ「ばけばけ」の登場人物の一人であった「西田千太郎」です。朝ドラに登場した千太郎は、島根県松江市の松島地区の松島村に生まれ、ラフカディオ・ハーンと出合い、影響を受けてきました。朝ドラの登場人物に扮して、お祭りを楽しみます。朝ドラの登場人物に扮して、お祭りを楽しみます。朝ドラの登場人物に扮して、お祭りを楽しみます。

お問い合わせ 島根学習センター (電話 0852-28-5500)

主催 放送大学島根同窓会

会費 無料 (講師・FAX 送料)

申し込み 5月1日(日)まで

◆ サークル紹介 ◆

<p>学友会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動:随時 ● 年会費 1,000円 (2学期からの新規入会は500円) ● 代表者:藤嶋 	<p>学生研修旅行(センターとの共催)、ロコモ体操、松江散策ツアー、入学者への学習方法アドバイスなど学習に役立つことや学生間の交流になる事業を行っています。また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みも行っていきます。</p>
<p>古文書を読む会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月1回 第3水曜日 13:00~15:30 ● 会費:月額500円で6ヶ月分前払い ● 代表者:竹下 ※学外者も入会可 	<p>古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。毎回講師を招き、江戸時代に書かれた古文書の原文を読み下すだけでなく、当時の社会構造や武家社会の状況、村に残されていた村方文書についても解説します。さらに時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。特に松江藩郡奉行文書(全国で唯一訴状から裁きが終わるまでの文書)は身近な地名や人物が判明して、興味が一段と湧いてきます。</p>
<p>だんだんサロン・表現の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月1回 主に第3木曜日 13:30~16:00 ● 会費:無料 ● 代表者:知野見 ※学外者も入会可 	<p>表現活動(話す・書く)を通して、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的として以下の活動を行っています。 (おしゃべり会)自由な話し合いを通して、話しことばの楽しさを学ぶ (作文の時間)作文を読みあうことで、文章表現を学ぶ ※前半は「おしゃべり会」後半は、「作文の時間」です。どちらかだけの参加もできます。</p>

サークルへの入会希望、質問等は島根学習センターまでお問い合わせください。おって、サークル代表者よりご連絡いたします。

【問合せ】島根学習センター ☎ 0852-28-5500 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp

スケジュール

【ゼ】ゼミ 【相】学習相談 ●面接授業

4月		
日	曜	行事予定
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	閉所日
7	火	
8	水	閉所日
9	木	【相】大谷 【相】武田 【相】田中
10	金	【相】山崎
11	土	【相】村瀬
12	日	
13	月	閉所日
14	火	閉所日
15	水	
16	木	【相】大谷 【相】千代 【相】武田 【相】田中
17	金	【相】村瀬 【ゼ】山崎
18	土	●認知症の基礎知識とケア
19	日	
20	月	閉所日
21	火	閉所日
22	水	【ゼ】大谷 【ゼ】村瀬
23	木	【ゼ】武田 【ゼ】田中
24	金	【相】山崎 【ゼ】千代
25	土	●活断層がもたらす災いと 恵み
26	日	
27	月	閉所日
28	火	閉所日
29	水	昭和の日
30	木	

5月		
日	曜	行事予定
1	金	
2	土	【相】村瀬
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	振替休日
7	木	【相】田中
8	金	【相】山崎
9	土	●日本神話と海外神話
10	日	
11	月	閉所日
12	火	【相】村瀬
13	水	閉所日
14	木	【相】大谷 【相】武田 【相】田中
15	金	【相】山崎 【ゼ】千代
16	土	●社会心理学 ●鳥根の神楽を学ぶ
17	日	
18	月	閉所日
19	火	閉所日
20	水	【ゼ】大谷
21	木	【相】武田 【ゼ】田中
22	金	【相】千代
23	土	
24	日	
25	月	閉所日
26	火	閉所日
27	水	【ゼ】村瀬
28	木	【相】大谷 【ゼ】武田
29	金	【ゼ】山崎
30	土	
31	日	●建築遺産の空間学2

6月		
日	曜	行事予定
1	月	閉所日
2	火	閉所日
3	水	【相】村瀬
4	木	【相】大谷 【相】田中
5	金	
6	土	●小泉八雲と松江
7	日	
8	月	閉所日
9	火	
10	水	閉所日
11	木	【相】武田 【相】田中
12	金	【相】山崎 【ゼ】千代
13	土	●石見銀山の遺跡とその歴史
14	日	
15	月	閉所日
16	火	閉所日
17	水	【ゼ】村瀬
18	木	【相】大谷 【相】武田 【ゼ】田中
19	金	【相】千代 【相】山崎
20	土	●ヤングケアラー概論 ●水中の微小生物の採集と観察
21	日	入学相談会（松江）
22	月	閉所日
23	火	閉所日
24	水	【ゼ】大谷
25	木	【ゼ】武田
26	金	【ゼ】山崎
27	土	【相】村瀬
28	日	
29	月	閉所日
30	火	閉所日

開所時間 9:30~17:30

MEMO

放送大学島根学習センターの職員を紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

所長 出口 顕 事務長 平野 英夫

事務職員 渡辺（総務・広報） 船越（総務・会計） 坂根（教務） 浜田（学生・教務） 森脇（教務）